

法学系 法律学コース・政治学コース		
取り組みの現状	学生による授業評価等	個別の先生によっては行っているものもある。都立大学法学部において学部独自に行ってきた学生アンケートなどの経験をふまえ、新大学における新たなFD体制の構築を検討している。
	研究会・講演会・セミナー等	なし
	外部評価等	第三者評価機関の選択問題も含めて検討中。
今後の予定・展望	第三者評価に耐えうるような調査機関・内容等につき検討中。新大学の設置、専門職大学院の設置、公務員試験の改革などが、学生の学修行動や履修行動にもたらす影響を見極めつつ、今後のカリキュラムの検討に生かしたい。なお、専門科目の授業評価、認証評価やその準備などFD活動や自己点検評価に向けた予算の担当がなされる必要がある。	

社会科学部 社会科学部 社会人類学		
取り組みの現状	学生による授業評価等	
	研究会・講演会・セミナー等	隔週で教員全員が参加する演習を実施し、院生の論文指導をおこなうとともに、教員による院生指導を教員相互が確認しあっている。定期的に社会人類学研究会を開催し、外部の研究者との討論、意見交換を通じて教員全員のブラッシュアップをはかっている。定期的に教員全員が参加する演習を実施し、院生の論文指導をおこなうとともに、教員による院生指導を教員相互が確認しあっている。
	外部評価等	
今後の予定・展望		

社会科学部 社会科学部 基礎法学専攻		
取り組みの現状	学生による授業評価等	極めて少人数のため、学生による授業評価はなじまない。授業の効果は、研究者養成を主眼とする大学院の場合、修士論文・博士論文といった成果で間接的に評価されるべきものとする。
	研究会・講演会・セミナー等	「基礎法学総合演習」を定期的に行い、2005年度は、修士論文の中間報告会を行っている。さらに、新任及び在外研究後のスタッフの研究報告も行っている。
	外部評価等	2004年度は、法科大学院設置申請に際して、文部科学省による教員審査を受けている。さらに、2005年度は、法学政治学専攻の設置申請に関連して、内部においてスタッフの教員審査を行い、その上で外部委員による評価を受けた。
今後の予定・展望	今後、認証評価など定期的に公正中立な第三者評価機関による審査を受けるためには、その経費だけでなく、その準備に向けた予算の担当がなされる必要がある。	

社会科学部 社会科学部 政治学専攻		
取り組みの現状	学生による授業評価等	極めて少人数のため、学生による授業評価はなじまない。授業の効果は、研究者養成を主眼とする大学院の場合、修士論文・博士論文といった成果で間接的に評価されるべきものとする。
	研究会・講演会・セミナー等	都立大学時代を含め、半世紀以上、3月8月を除く毎月、スタッフ全員が参加する研究会形式の授業「総合演習」を、開催することにより、全体としての研究・教育水準をさらに向上させるような相互刺激に努めている。新任スタッフは、「総合演習」において、著任講演として、研究報告を行っている。また、定期的にスタッフミーティングを行い、大学院の教育および研究指導に関する意見交換を行っている。これらの活動状況については、40周年（1995年）、50周年（2005年）の区切りに記念誌を発行し、外部に報告している。
	外部評価等	2005年度は、法学政治学専攻の設置申請に関連して、内部においてスタッフの教員審査を行い、その上で外部委員による評価を受けた。

今後の予定・展望	第三者評価機関による大学機関別認証評価が義務づけられているので、公正な自己点検・評価をしつつ、不斯にカリキュラムの改善を図っていく。なお、認証評価の予算化は当然として、その認証評価に向けた準備のためには内部審査に必要な事務経費や外部委員による評価を受けるための予算の手当が必要である。
----------	--

社会科学部 法曹養成専攻		
取り組みの現状	学生による授業評価等	2004年度設置以降、各年度とも学期ごとに、法科大学院の教育等の改善及び充実のためのアンケート調査をすべての法科大学院生を対象として実施している。このアンケート調査において、すべての授業科目について学生による授業評価を行うとともに、併せて授業内容や方法、学習支援体制（オフィスアワーなど）、施設や設備などに対する要望などを尋ねている。授業評価の結果や授業に関する要望について当該科目の担当教員にフィードバックし、教育活動等の改善に役立てている。また、このアンケートで挙げられた要望等をFD会議で検討し、学習環境の改善を図っている。
	研究会・講演会・セミナー等	①FD会議の実施 毎月1回、授業を担当する教員から構成されるFD会議を開催し、学生の学習状況や授業方法などについての情報の共有化を図るとともに、法科大学院における教育等についての意見交換を行っている。 ②各種の団体が実施するセミナー等への参加 法科大学院教育、新司法試験、第三者評価などに関して法科大学院協会、日弁連等の各種団体が実施する検討会やセミナーに参加している。
	外部評価等	2004年度は、法科大学院設置申請に際して、文部科学省による教員審査を受けている。また、法科大学院認証評価を受けることが法定化されているので、その準備を不断に進めている。
今後の予定・展望	上記のような取組みを継続するとともに、認証評価に向けた準備を本格化していく。なお、法科大学院認証評価機関による認証評価及びそれに向けた準備のための予算措置が至急講じられる必要がある。	

社会科学部 経営学専攻（ビジネス・スクール）		
取り組みの現状	学生による授業評価等	ビジネス・スクール開設以来、毎期ごとに学生による授業評価アンケートを実施し、シラバスの検討・授業方法の改良・成績評価方法の検討その他の参考資料としている。また、ビジネス・スクールでは開設年次から、大部分の科目でオンライン・シラバス（S-cubic）を用い、シラバスの公開・講義内容の記録・教員および学生によるオンライン会議・課題提出などに広く活用している。
	研究会・講演会・セミナー等	
	外部評価等	
今後の予定・展望	ビジネス・スクールは、開設準備期間から望ましいカリキュラムのあり方や講義方法など、様々な検討を重ね、平成15年の開設以降は、カリキュラム以外にも各種セミナーの開催や個別の論文指導に力を注いできた。今後は、ちよと開設から3年を経たこともあり、カリキュラムのさらなる充実、科目間のシラバスの調整など、教育の拡充のための全体的な検討作業に取り組みたい。このような検討の成果は、経営学系の学部の特科科目の充実、教育方法の改善にも順次反映させていきたい。	

理工学系数理解科学コース		
取り組みの現状	学生による授業評価等	「微分積分Ⅰ」及び「線型代数Ⅰ」について、内容、授業方法等についてアンケートを実施。また、数理解科学コース学生相談室を開設して学生のよろず相談に対応。
	研究会・講演会・セミナー等	学部特別研究（セミナー形式）を学生が容易に選択出来る様に、各教員の専門傾向やセミナー内容の理解を促す説明会を開催。
	外部評価等	
今後の予定・展望		

理学部 数理解科学専攻		
取り組みの現状	学生による授業評価等	数理解科学コース学生相談室を開設して学生のよろず相談に対応。
	研究会・講演会・セミナー等	数理解析セミナー、幾何セミナー、整数論セミナー、複素幾何セミナーなど各分野で横断的なセミナーを実施。

外部評価等	
今後の予定・展望	大学院セミナーの説明会を予定している。

理工学系物理学コース		
取り組みの現状	学生による授業評価等	基礎教育センターの実施している授業アンケートの結果を専攻内のカリキュラム委員会で活用し、授業の改善化をおこなっている。具体例として、評価の高い授業を選んで、カリキュラム委員による該当授業の見学を行い、その長所をまとめてコース全体の授業レベルの向上をはかるなどの活動を行っている。
	研究会・講演会・セミナー等	上述のイニシアティブ事業で、学生の要望に対応する形で、英語による論文制作の指導を小野東京大学特任教授を招いて実施予定である。
	外部評価等	平成12年度に物理学専攻として外部評価を実施した。その際、大学院教育も評価対象に含めたものを行っている。
今後の予定・展望		

理学研究科物理学専攻		
取り組みの現状	学生による授業評価等	H17年度からH18年度にかけて「魅力ある大学院教育」イニシアティブ事業を物理学専攻・化学専攻の共同事業として実施する。その中で共通大学院講義を行う予定である。授業に対する評価を、受講学生よりアンケート形式で行う予定である。
	研究会・講演会・セミナー等	
	外部評価等	平成12年度に物理学専攻として外部評価を実施した。その際、学部教育も評価対象に含めたものを行っている。
今後の予定・展望		

理工学系化学コース		
取り組みの現状	学生による授業評価等	基礎教育センターの実施している授業アンケートの結果(前期)を化学コース内で話し合い、改善すべき点を検討した。後期分についても結果がわかりたい、話し合う予定である。
	研究会・講演会・セミナー等	基礎ゼミの前期分に関しては、前期終了後に理工学系の担当者が集まり情報交換を行った。また、都市教養プログラム・基礎ゼミについて、今年度の経験を生かすためにセミナーを開く予定である。さらに、基礎教育に関する研究会を開いて、来年度の担当者の講義に生かすことを計画している。
	外部評価等	平成12年度に化学科として外部評価を実施した。その際、学部教育も評価対象に含めたものを行っており、かなりの評価を得た。
今後の予定・展望	平成18年度の学科年次計画において、新たにFD関連の項目を設けて実施計画等を立案する予定である。	

理学研究科化学専攻	
学生による授業評価等	H17年度からH18年度にかけて「魅力ある大学院教育」イニシアティブ事業を化学専攻・物理学専攻の共同事業として実施する。その中で共通大学院講義を行う予定である。授業に対する評価を、受講学生よりアンケート形式で行うことを計画している。

取り組みの現状	研究会・講演会・セミナー等	「魅力ある大学院教育」イニシアティブ事業の一環として、大学院集中講義に「英語論文の書き方」を取り入れ、小野東京大学特任教授による講義を1月23日、24日行う。
	外部評価等	平成12年度に化学専攻として外部評価を実施した。その際、大学院教育も評価対象に含めたものを行っており、かなりの評価を得た。
今後の予定・展望	平成18年度の学科年次計画において、新たにFD関連の項目を設けて実施計画等を立案する予定である。	

理工学系生命科学コース		
取り組みの現状	学生による授業評価等	授業評価に関する問題提起および留意点の検討とその周知徹底を実施した。
	研究会・講演会・セミナー等	コース内FD委員会が中心となり、教監会議等でFD関連の話題を提供し、FDについて意見交換、議論を行う
	外部評価等	
今後の予定・展望	本コースでこれまで取り組んできた授業評価分析をまとめ、大学院のFD関連活動とともに小冊子とする。	

理学研究科生物科学専攻		
取り組みの現状	学生による授業評価等	生物学特別講義（総合研究力養成法）（1単位）各教員担当のアンケート調査、その分析、公表（魅力ある大学院教育イニシアティブ事業の一環として実施予定）
	研究会・講演会・セミナー等	魅力ある大学院教育イニシアティブ事業の一環として実施予定。
	外部評価等	
今後の予定・展望	魅力ある大学院教育イニシアティブ事業の一環として専攻FD（研究指導体制の改革）に向けた議論を開始することを予定している。	

理工学系電気コース		
取り組みの現状	学生による授業評価等	<ul style="list-style-type: none"> 特別研究の中間報告会及び最終報告会を開催し、学生と教員相互の研究成果の情報交換と評価に力を入れている。 学生実験の発表会や特別研究の発表会に全教員が参加して、常に学生からの授業及び実験への要望を開き、また優れた実験成果には賞を与えている。 自主的に学生実験のアンケート調査を実施し、フィードバックを行っている。
	研究会・講演会・セミナー等	<ul style="list-style-type: none"> 1年次学生に対しフレッシュナー・セミナーを実施し、早い段階で専門的技術や知識に興味を持たせよう努力している。 学部2年生を対象とし、EEI基礎実験発表会を開催し、全教員参加のもとで、成果報告を行っている。 学部3年生を対象とした、プロジェクト実験発表会を開催し、全教員参加のもとで、成果報告を行っている。
	外部評価等	<ul style="list-style-type: none"> 教員の採用にあたって、外部評価委員を加えるなど評価の客観性と中立性を確保している。 教員の紹介、研究業績、学外活動及び研究内容を紹介するHPを公開し、外部評価への情報提供を進めている。
今後の予定・展望	平成18年度の学科年次計画において、大学院に係わるFD関連の推進目標を立て実施計画等を立案する予定である。	

電気電子工学専攻		
-----------------	--	--

取り組みの現状	学生による授業評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・修士論文の中間報告会及び最終報告会を開催し、相互の研究成果の情報交換に力を入れている。 ・各研究室毎にプロジェクト成果報告会を開催し、全大学院生参加のもとで、成果報告を行い、研究推進及び外部発表の要望を聴取している。
	研究会、講演会、セミナー等	<ul style="list-style-type: none"> ・学生を、内外のセミナー、研修会、講習会、講演会に積極的に参加させている。 ・外国人研究者の特別講演会を実施するなど、学生の国際的視野の拡大に努めている。 ・多くの学生を国際会議に参加させ論文発表を行うなど、国際化に努めている。 ・外国人研究者を受入、大学院生の国際性と学問領域の拡大に務めている。
	外部評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の採用にあたって、外部評価委員を加えるなど評価の客観性と中立性を確保している。 ・教員の紹介、研究業績、学外活動及び研究内容を紹介するHPを公開し、外部評価への情報提供を進めている ・本専攻でこれまで取り組んできた授業評価及び学会成果をまとめ、この分析に基づき大学院のFD関連活動の改善を図り、外部評価に資する情報を提供する。
今後の予定・展望		<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度の学科年次計画において、大学院に係わるFD関連の推進目標を立て実施計画等を立案する予定である。

建築都市コース・建築学専攻

取り組みの現状	学生による授業評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・建築学科の専門科目すべてを対象に、教員が個別に「学生による授業評価アンケート」調査を実施することになっている。アンケート調査票は、学科共通のフォーマットがある。ただし、アンケートの実施については、すべて教員の自主性に任せられている。配布・回収・集計等はすべて教員が行い、各自の授業改善に役立っている。
	研究会・講演会・セミナー等	-
	外部評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成13年度に学が委員5名による外部評価を実施した。評価は実地調査日に建築学科教員に対する講評の形式で行い、さらに工学部で統一して作成した評価項目に従い、各委員に独自に評価書を作成していただき、それらを取りまとめる形で委員長に総評の執筆を依頼した。
今後の予定・展望		<ul style="list-style-type: none"> ・JABEEをはじめとする、教育評価システムについて対応が必要である。現在、教員が個別に行っている授業評価も組織的に行う必要があろう。ただし、あくまでも、よりよい教育体制を構築し維持することが我々に課せられた課題であり、外部の評価に合格することを目的とした行動をとることは考えていない。

都市科学専攻

取り組みの現状	学生による授業評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院の開設以後、各教員レベルでは、個別に授業評価を実施してきた。大学院における組織だった授業評価としては、2003年度末に、修士・博士卒業生全員を対象として、アンケートによる授業評価を実施した。その結果は、2004年度の「自己点検評価委員会報告書」に報告した。都市科学研究科の卒業生の全体的な評価結果では、他の研究科と比較して、同等ないしやや高い評価が得られている。 ・2004年度末にも、修士、博士卒業生全員とともに、在学生も含めたアンケートによる授業評価を実施した。
	研究会・講演会・セミナー等	-
	外部評価等	-
今後の予定・展望		<ul style="list-style-type: none"> ・今後の授業評価の課題としては、科目別にみた授業評価や経年的に見た改善度などの評価を、組織的評価改善システムを構築することとともに、大学院生への情報還元や、学生や教員とが協働する総合的な評価改善システムを構築していくことが課題である。

システムデザイン学部

取り組みの現状	学生による授業評価等	なし
	研究会・講演会・セミナー等	12月15日に学習会を開いた。上野委員長にも講演をしていただくも、参加者が少数であった。
	外部評価等	なし
今後の予定・展望		<ul style="list-style-type: none"> ・システムデザイン学部では現在教員の勤務地が3箇所に分散していること、新コースが開設されたばかりこと、新校舎の建築計画が進行中であること、等優先的に処理すべき問題が多く相対的に講演会・学習会など教員個人の意識に期待するFD活動に関心が向かない状況にあるようである。今後は、SEなど業務的な活動を行う方が良いと思われる。